

2013年6月26日  
株式会社日立製作所

## 中小規模システム向けの日立統合プラットフォーム 「Hitachi Unified Compute Platform かんたん仮想化モデル」を販売開始



日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform」

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、IT システムの迅速かつ容易な構築、運用を実現する日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform(日立ユニファイドコンピュートプラットフォーム)」(以下、UCP)において、中小規模システムのサーバ仮想化環境の構築向けに、「Hitachi Unified Compute Platform かんたん仮想化モデル」(以下、UCP かんたん仮想化モデル)を製品化し、6月27日から販売を開始します。

近年、事業拡大や新事業の早期立ち上げ、IT 投資の効率化を目的にクラウド(クラウドコンピューティング)の利用が加速しており、IT システム導入の迅速化および容易化のニーズがグローバルに高まっています。日立は、こうした背景のもと、必要なハードウェアや仮想化技術、ソフトウェアを統合して提供する統合プラットフォームである UCP をグローバル市場に向けて製品化し、国内では、2012年10月に、大規模なクラウドサービス事業者を主な対象とする IaaS\*1 基盤モデルと、中規模以上のプライベートクラウドを主な対象とする PaaS\*2 基盤モデルの販売を開始しました。

\*1 IaaS(Infrastructure as a Service):サーバやストレージなどのハードウェアをネットワークを介して提供する形態。さまざまなミドルウェアなどをインストールできる、システム構築の自由度が高い実行環境を提供する。

\*2 PaaS(Platform as a Service):サーバやストレージなどのハードウェアからミドルウェアまで含めた、業務アプリケーションの実行環境をネットワークを介して提供する形態。

今回、日立は、主に国内においてニーズが高い、中小規模のプライベートクラウドやサーバ統合などのシステム基盤向けに、「UCP かんたん仮想化モデル」を製品化しました。本モデルは、VMware vSphere®や Microsoft® Windows Server® 2012 Hyper-V®(以下、Hyper-V)を用いたサーバ仮想化環境の豊富な構築実績に基づいたノウハウを活用することで、ハードウェアとソフトウェアを組み合わせた事前検証済みの構成の中から、システム規模などに応じて選択し、顧客のシステム要件に合わせた調整を適宜実施して提供するもので、発注から最短で10営業日という短期間で提供可能です。これにより、顧客の効率的なIT投資と、事業環境の変化への迅速な対応を支援します。

日立は、今後も、クラウドをはじめとするシステムの迅速かつ容易な構築、運用を実現するべく、デスクトップ仮想化への対応など、UCPの強化を進めていきます。

## ■「UCP かんたん仮想化モデル」の特長

### 1. 中小規模システム向けのサーバ仮想化環境の迅速かつ容易な構築を実現

日立の豊富なサーバ仮想化環境の構築実績に基づいたノウハウの活用により、事前検証済みのサーバ、ストレージ、ネットワーク、サーバ仮想化ソフトウェアなどを組み合わせた構成の中から、システム規模などに応じて最適なものを選択し、サーバ仮想化環境を構築して基本設定を済ませた状態で提供します。

中小規模のプライベートクラウドやサーバ統合などのシステム基盤を対象とし、仮想サーバ数は 4～64 の範囲で、サーバ仮想化ソフトウェアは VMware vSphere<sup>®</sup>または Hyper-V から選択可能です。顧客のシステム要件に合わせて、仮想サーバ数やストレージの論理ボリューム数など、リソースの割り当てを調整できるため、顧客のニーズに最適なシステム基盤を提供します。

また、このような場合でも、発注から最短で 10 営業日での納入が可能であり、さらに、システム環境の構築と基本設定を済ませて提供するため、納入後すぐに利用開始できます。

なお、Hyper-V を用いたサーバ仮想化環境については、Microsoft<sup>®</sup> Private Cloud Fast Track<sup>\*3</sup> に準拠します。

\*3 Microsoft Private Cloud Fast Track: プライベートクラウドの実装における複雑さとリスクを軽減する事前構成済みのソリューションを提供するためのマイクロソフトとハードウェアパートナーの共同プログラム。

### 2. サーバ仮想化環境の容易な運用を実現

運用管理を効率化する運用支援マニュアルや、操作トレーニング<sup>\*4</sup>を提供するとともに、物理サーバの運用と同等程度の操作性で容易にサーバ仮想化環境を運用できる管理ソフトウェア「VM Simple Console utility」を標準で添付<sup>\*5</sup>します。これにより、サーバ仮想化環境の運用に習熟した担当者の確保が難しく、1 人のハードウェア管理者がシステム全体の運用を任せられる場合が多い、中小規模のシステムを構築する顧客においても、運用の容易化を支援します。

\*4 Hyper-Vを用いたサーバ仮想化環境の場合は、オプション提供。

\*5 ラックマウントサーバを採用した場合。

## ■「UCP かんたん仮想化モデル」の価格と出荷時期

製品	仕様概要	価格 <sup>*7</sup>	出荷時期
Hitachi Unified Compute Platform かんたん 仮想化モデル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェア: サーバ(ラックマウント/ブレード)、ストレージ(エントリークラス/ミッドレンジクラス)、ネットワーク</li> <li>・ソフトウェア: サーバ仮想化ソフトウェア(VMware vSphere<sup>®</sup>/Microsoft<sup>®</sup> Windows Server<sup>®</sup> 2012 Hyper-V<sup>®</sup>)、サーバ仮想化環境管理ソフトウェア(VM Simple Console utility<sup>*6</sup>)</li> <li>・サーバ仮想化環境の構築</li> <li>・ストレージの基本設定(RAID/LU 設定)</li> <li>・ネットワークの基本設定(VLAN 設定)</li> <li>・ユーザーマニュアル</li> <li>・操作トレーニング<sup>*4</sup></li> </ul>	8,123,850 円～ (税抜 7,737,000 円～)	2013 年 7 月 31 日

\*6 Hyper-Vを用いたサーバ仮想化環境には、2013年10月対応予定。

\*7 サポートサービス費用(月額)を含まない価格。

■ 他社商標注記

- ・Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・VMware、VMware vSphere は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 日立統合プラットフォーム「Hitachi Unified Compute Platform」に関するホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/ucp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

HCA センター

電話:0120-2580-12(利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日を除く))

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---